

神奈川県微生物検査情報

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/eiseisomu/eiken/infectionC.htm>

神奈川県衛生研究所

第101号

(2001年 8月)

平成13年10月31日発行

細菌関連情報

津久井保健所および秦野保健所管内の他県の食中毒関連患者、小田原保健所管内の有症苦情者から *Vibrio parahaemolyticus* (4株) が分離された。血清型は O3:K6 2株 (津久井保健所および秦野保健所)、O2:K3 2株 (小田原保健所) であった。

茅ヶ崎保健所および鎌倉保健所の保菌者検索からサルモネラ (2株) が検出された。血清型は Braenderup および Typhimurium であった。

腸管出血性大腸菌は、秦野保健所管内3名、藤沢保健所管内3名から分離され血清型は O157:H7 (Stx1,2) であった。

感染症発生動向調査では感染性胃腸炎患者より *E. coli* O1 (3株)、O6 (1株) が分離された。なお、*E. coli* (4株) は *stx* 遺伝子を保持していなかった。

淋病感染症患者より分離された *Neisseria gonorrhoeae* は4株あり、それらのうち1株はペニシリナーゼ産生菌であった。

(細菌病理部)

ウイルス関連情報

手足口病は今夏は大きな流行はみられなかったが、8月に入っても少数ながら発生している。検査定点より依頼のあった手足口病患者の咽頭拭い液2検体について検査依頼があり、現在検査中である。

ヘルパンギーナは8月に入って終息に向かった。検査定点より依頼のあったヘルパンギーナ患者の咽頭拭い液1検体についてを実施したところ、コクサッキーウイルス B5型が分離された。

検査定点より依頼のあった咽頭結膜熱患者の咽頭拭い液2検体について検査を実施したところ、アデノウイルス3型および同19型を分離した。

検査定点より依頼のあった無菌性髄膜炎患者1症例3検体 (髄液、咽頭拭い液、糞便) について検査を実施したところ、糞便検体からコクサッキーウイルス B5型が分離された。

その他、デング熱疑いの患者が2名発生した。2名の血清から遺伝子検出法で、デングウイルス1型が検出され、抗体検出法で、それぞれデングウイルス特異的抗体が検出された。なお、2名の推定感染地はフィリピンであった。

(ウイルス部)

表1 菌種・菌型別病原菌検出状況（ヒト由来）

（平成13年）

菌種・群・型	ヒト由来検出数									
	5月		6月		7月		8月		平成13年累計	
	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者
Escherichia coli (Total)*	5		5		2		10		56	
Shigella (Total)									1	1
Salmonella 04 (B)							1		1	
Salmonella 07 (C1,C4)			2				1		3	
Salmonella 09 (D1)			24		7				31	
Vibrio parahaemolyticus							4		4	
Aeromonas hydrophila			1						1	
Aeromonas sobria									1	
Campylobacter jejuni			24						28	
Clostridium perfringens*			3						6	
Neisseria gonorrhoeae	1		3		7		4		32	
Neisseria meningitidis					2				2	
Streptococcus, A			2						7	
Klebsiella oxytoca			3						6	
Aeromonas caviae									2	
合計	6		67		18		20		181	1

【注】*：急性胃腸炎の原因菌と考えられるもののみ記載

Escherichia coli の内訳（再掲）	ヒト由来検出数									
	5月		6月		7月		8月		平成13年累計	
	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者
Escherichia coli 病原大腸菌血清型							4		25	
Escherichia coli EHEC/VTEC	5		5		2		6		31	
Escherichia coli その他・不明										
合計	5		5		2		10		56	

Shigella の型別（再掲）	ヒト由来検出数									
	5月		6月		7月		8月		平成13年累計	
	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者
Shigella sonnei									1	1
Shigella 群不明										
合計									1	1

表2 保健所・衛生研究所別病原菌検出状況（ヒト由来）

（平成13年8月）

菌種・群・型	ヒト由来検出数														計
	平塚	鎌倉	藤沢	小田原	茅ヶ崎	三崎	秦野	厚木	大和	足柄上	津久井	小計	衛生研究所		
Escherichia coli (Total)*			3				3					6	4	10	
Salmonella 04 (B)		1										1		1	
Salmonella 07 (C1,C4)					1							1		1	
Vibrio parahaemolyticus				2			1				1	4		4	
Neisseria gonorrhoeae													4	4	
合計		1	3	2	1		4				1	12	8	20	

*：急性胃腸炎の原因菌と考えられるもののみ記載

Escherichia coli の内訳（再掲）	ヒト由来検出数														計
	平塚	鎌倉	藤沢	小田原	茅ヶ崎	三崎	秦野	厚木	大和	足柄上	津久井	小計	衛生研究所		
Escherichia coli 病原大腸菌血清型													4	4	
Escherichia coli EHEC/VTEC			3				3					6		6	
Escherichia coli その他・不明															
合計			3				3					6	4	10	

表3 保健所・衛生研究所別検査数

（平成13年8月）

検査材料 検査所	ヒト		食品	環境	計
	総数	内海外渡航者			
平塚	727		3		730
鎌倉	482		10		492
藤沢	592		8		600
小田原	2,110		30	24	2,164
茅ヶ崎	531		5	22	558
三崎	106		11	2	119
秦野	338		3	8	349
厚木	712		27		739
大和	121		9		130
足柄上	297		12		309
津久井	379		8		387
小計	6,395		126	56	6,577
衛生研究所	103		10	10	123
計	6,498		136	66	6,700

表4 ウイルス検出状況（月別）

（平成13年 8月31日現在検出分）

検出ウイルス	4月	5月	6月	7月	8月	平成13年累計
インフルエンザ AH1	1					30
インフルエンザ AH3						5
インフルエンザ B						8
ポリオ 1	1					1
ポリオ 2	1					1
コクサッキー A2			4	3		8
コクサッキー A4				7		7
コクサッキー A5		1	3	3		7
コクサッキー A16			2	1		3
コクサッキー B5			1	5	2	8
エコー 22				1		1
ムンプス			2	1		4
アデノ 1						1
アデノ 2						1
アデノ 3		2		1	1	11
アデノ 4						1
アデノ 19					1	1
アデノ（型未決定）						
単純ヘルペス 1		1				2
小型球形						1
ノーウォーク	11					26
デング					2	2
未同定						
合計	14	4	12	22	6	129

表5 ウイルス検出状況（疾患別）

（平成13年 8月31日現在検出分）

検出ウイルス	麻疹様疾患	流行性耳下腺炎	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	インフルエンザ様	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	急性出血性結膜炎	無菌性髄膜炎	急性性脳炎	食中毒	その他	合計
コクサッキー B5					1					1				2
アデノ 3							1							1
アデノ 19							1							1
デング													2	2
未同定														
合計					1		2			1			2	6